【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成30年2月15日(2018.2.15)

【公開番号】特開2016-7476(P2016-7476A)
【公開日】平成28年1月18日(2016.1.18)
【年通号数】公開・登録公報2016-004
【出願番号】特願2014-131171(P2014-131171)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０
Ａ６３Ｆ　7/02　３０４Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成29年12月28日(2017.12.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技領域に遊技媒体を発射することにより遊技を行う遊技機であって、
前記遊技領域のうちの所定領域に遊技媒体を発射することが、第１遊技状態よりも有利な第２遊技状態に制御する遊技状態制御手段と、
前記遊技状態制御手段によって前記第２遊技状態に制御されている場合、前記所定領域に遊技媒体を発射すべき旨の指示を第１表示領域に表示する第１指示表示と、該第１表示領域とは異なる第２表示領域に表示する第２指示表示と、を実行可能な指示表示手段と、
特定演出を実行する特定演出実行手段と、を備え、
前記指示表示手段は、前記第１表示領域の少なくとも一部の視認が妨げられている場合でも、前記第２表示領域の視認が妨げられることなく前記第２指示表示を実行し、前記特定演出実行手段によって前記特定演出が実行されている場合、前記第１指示表示の実行を制限する一方で前記第２指示表示を実行する
ことを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
（１）上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、遊技領域に遊技媒体（例えば遊技球など）を発射することにより遊技を行う遊技機（例えばパチンコ遊技機１など）であって、前記遊技領域のうちの所定領域（例えば右遊技領域２Ｂなど）に遊技媒体を発射することが、第１遊技状態（例えば通常状態など）よりも有利な第２遊技状態（例えば確変状態や、時短状態、大当り遊技状態、小当り遊技状態など）に制御する遊技状態制御手段（例えばＣＰＵ１０３など）と、前記遊技状態制御手段によって前記第２遊技状態に制御されている場合、前記所定領域に遊技媒体を発射すべき旨の指示を第１表示領域（例えば画像表示装置５の上方の表示領域など）に表示する第１指示表示（例えば第１右打ち指示報知など）と、該第１表示領域とは異なる第２表示領域（例えば画像表示装置５の下方

右側の表示領域など）に表示する第２指示表示（例えば第２右打ち指示報知など）と、を実行可能な指示表示手段（例えば演出制御用ＣＰＵ１２０など）と、特定演出（例えばスーパーリーチ演出など）を実行する特定演出実行手段（例えばステップＳ５２９の処理を実行する演出制御用ＣＰＵ１２０など）と、を備え、前記指示表示手段は、前記第１表示領域の少なくとも一部の視認が妨げられている場合でも、前記第２表示領域の視認が妨げられることなく前記第２指示表示を実行し、前記特定演出実行手段によって前記特定演出が実行されている場合、前記第１指示表示の実行を制限する一方で前記第２指示表示を実行する（例えば演出制御用ＣＰＵ１２０は、ステップＳ５３１の処理などを実行する）、ことを特徴とする。

このような構成によれば、第１表示領域の少なくとも一部の視認が妨げられている場合でも、第２表示領域の視認が妨げられることなく第２指示表示を実行することができるため、遊技者は、指示を容易に認識することができる。また、特定演出の妨げとなることなく、所定領域に遊技媒体を発射すべき旨の指示を表示することができる。